

**日本養護教諭養成大学協議会  
事業活動報告書  
(2022年度)**

**2023年9月**



# 目 次

はじめに	1
<b>I 日本養護教諭養成大学協議会 2022 年度総会</b>	
1 2022年度総会のプログラム	3
2 総会議事録	4
<b>II 2022 年度事業報告 (2022.4 から 2023.3)</b>	
1 役員会等議事録	7
2 2022 年度基本調査報告	9
3 ホームページ報告	11
4 ニュースレター報告	12
5 講演報告「学校保健に関する最新情報等について」	13
6 養成教育セミナー報告	14
7 ワークショップ報告	17
<b>III 検討委員会等報告</b>	
1 教育課程(カリキュラム)・養成制度(法制度)検討委員会	19
2 FD検討委員会	21
3 広報・渉外委員会	23
<b>IV 規約</b>	
1 会則	24
2 役員会規程	27
3 理事選出に関する規程	28
<b>V 加盟大学一覧</b>	30
<b>VII 役員一覧</b>	32



## はじめに

### 日本養護教諭養成大学協議会 会長 遠藤伸子

2022年度の活動報告書をお届けする時期になりました。2022年は引き続きのマスク生活が続いた1年であり、総会、養成教育フォーラム・セミナーもオンライン開催となりました。昨年度は、初めてのオンライン開催でハラハラしたこともありましたが、評議員の皆様のご協力もあり、スムーズに進行できたと思います。そのこともあってか、会員校の先生方に調査させて戴いた結果、多くの方がオンライン開催での総会を希望されていることがわかりました。一方でグループ作業を伴うようなプログラムは対面開催の方が良いというご意見も戴きました。そのため、9月の養成教育セミナーについては、ICTを活用した授業が可能になった今こそ「反転授業の設計」ということでオンライン開催とさせて戴きましたが、続く「反転授業のワークショップ」では対面開催と致しました。久しぶりの対面開催で、ご参加くださった皆様が楽しそうにグループワークをされている姿が印象的でした。

そこで、2023年度の総会、フォーラム・セミナーについては、2日間開催に戻し、グループワークを伴う養成教育セミナーについては対面開催、総会・養成教育フォーラム（講演）については、オンライン開催と致しました。

さて、2023年度は、現理事の任期、最終年となります。2021年に発表した「養大協版コアカリ2020」の活用状況の調査を行い、新型コロナにより変化したニーズに 대응する改訂版作成に向けての準備をしたいと考えております。というのも2022年に文部科学省において行われた「養護教諭及び栄養教諭の資質能力の向上に関する調査研究協力者会議」の「議論のとりまとめ」では、養護教諭の養成は、教育系、看護系他、多様な養成があるため、「養護に関する科目」については、日本養護教諭養成大学協議会作成のコアカリキュラムを参考に今後議論が必要との指摘がされました。本会に寄せられた、このような期待と2023年度実施の調査結果などをもとに、改訂版作成に着手する必要性を感じました。

3年に亘る新型コロナ感染拡大により、学校や大学においてICT活用のスピードが速まり、子供達や学生のリテラシーが飛躍的に向上したことは言うまでもありません。

しかし、以前からの課題であった不登校や自殺念慮等のメンタルヘルスについてはより一層深刻さを増しています。学校保健の中核として期待される養護教諭の養成機関として看過できない状況です。また、相変わらず養護教諭の採用は狭き門である一方、小学校教諭の志望者激減のおおりで、教員採用試験の前倒しをする自治体が出て参りました。

以上、養成大学にとっては頭の痛い問題が山積していますが、会員校の先生方のお知恵をお借りしながら頑張りたいと存じます。引き続きのご支援を宜しくお願い申し上げます。



# I 日本養護教諭養成大学協議会 2022 年度総会

## I-1 2022 年度総会のプログラム

日 時：2022 年 9 月 9 日（金）9：30～16：30

会 場：オンラインでの開催

開 会	9：30
1. 総 会	9：40～10：45
休 憩	10：45～11：00
2. 講 演	11：00～11：45
文部科学省初等中等教育局 健康教育・食育課 健康教育調査官 松崎 美枝 氏 「学校保健に関する最新情報等について」リアルタイム型配信	
休 憩	11：45～12：30
3. 養成教育セミナー	12：30～16：25
「養護教諭養成大学教員の授業実践力の向上 反転授業の設計」 講演 川越明日香氏 「反転授業の授業設計について」 グループワーク 全体会および講師による講評・まとめ	
4. 閉 会	16：25～16:30

## I-2 総会議事録

新型コロナウイルス感染症による感染予防の観点から、2022年度の総会は、9月9日（金）にオンラインにて開催した。議決権を有する会員校135校のうち93校（委任状28大学）にご参加いただき、会則9条3「総会は、会員大学の過半数の出席および委任状により成立する」により成立したことが確認された。

遠藤伸子会長より、開会の宣言がなされ、昨年度に引き続き、コロナ禍でのオンライン開催という試みの中、多くの会員の方々にご参加いただいたことに感謝が述べられた。総会議長として、下村淳子先生（愛知学院大学）、成川美和先生（鎌倉女子大学）が選出され、以下の議題が審議並びに報告された。投票はZoom機能を用いて行い、委任状を含め、過半数を超えた場合に承認とした。

また、総会後に次年度の総会及び養成教育フォーラム、養成教育セミナーの開催方法について、メールによる臨時総会を開催し、会員校に意見を伺った結果、108校中100校の承認により、2023年度はオンライン開催にすることとなった。

### 1. 議事

#### (1) 2021年度事業報告

総会資料1に基づき、以下の内容が報告された。

##### ① 総会の開催

日時：2021年9月10日（金） オンライン開催

##### ② 常設委員会の活動

教育課程（カリキュラム）・養成制度（法制度）検討委員会

ファカルティ・ディベロップメント（FD）検討委員会 広報・渉外委員会

##### ③ 日本養護教諭養成大学協議会事業活動報告書（2010年度）の発行（2021年9月）

##### ④ 機関紙（Newsletter）45-47号の発行（2021年7月、2021年12月、2022年3月）

##### ⑤ 役員会の開催（第1回～第7回） Web会議

##### ⑥ 基本調査実施・報告

##### ⑦ 日本養護教諭関係団体連絡会の活動

##### ⑧ 入退会等について（入会0、退会3）

#### (2) 2021年度決算報告

総会資料2に基づき、報告され、承認された。

#### (3) 2021年度監査報告

総会資料3に基づき、中西監査委員、西岡監査委員より報告され、承認された。

#### (4) 2022年度事業（中間）報告

総会資料4に基づき、報告され、承認された。

##### ① 総会の開催

日時：2022年9月9日（金） オンライン



- ② 講演の開催  
 日時：2022年9月9日（金） オンライン  
 「学校保健に関する最新情報等について」  
 文部科学省初等中等教育局 健康教育・食育課 健康教育調査官 松崎 美枝氏
- ③ 養成教育セミナーの開催  
 日時：2022年9月9日（金） オンライン  
 講演：「反転授業の授業設計について」 川越 明日香氏（熊本大学）  
 グループワーク、全体会および講師による講評・まとめ
- ④ 常設委員会の活動  
 教育課程（カリキュラム）・養成制度（法制度）検討委員会  
 ファカルティ・ディベロップメント（FD）検討委員会 広報・渉外委員会
- ⑤ 日本養護教諭養成大学協議会事業活動報告書（2021年度）の発行（2022年9月）
- ⑥ 機関紙（Newsletter）48号発行（2022年7月）
- ⑦ 役員会の開催（第1回～第3回） Web会議
- ⑧ 基本調査実施・報告
- ⑨ 日本養護教諭関係団体連絡会の活動
- ⑩ 入退会について：入会3、退会0（2022年8月末現在）
- （5）2022年度修正予算（案）  
 総会資料5に基づき、提案され、承認された。
- （6）2023年度事業計画（案）（2023年4月～2024年3月）  
 総会資料6に基づき、提案され、承認された。
- ① 総会の開催：日時：2023年9月（予定）品川区立総合区民会館 [きゅりあん]  
 ② 養成教育フォーラムの開催：2023年9月（予定）品川区立総合区民会館 [きゅりあん]  
 ③ 養成教育セミナーの開催：2023年9月（予定）品川区立総合区民会館 [きゅりあん]  
 ④ 常設委員会の活動  
 教育課程（カリキュラム）・養成制度（法制度）検討委員会  
 ファカルティ・ディベロップメント（FD）検討委員会 広報・渉外委員会
- ⑤ 日本養護教諭養成大学協議会事業活動報告書（2022年度）発行（2023年9月）
- ⑥ 機関紙（Newsletter）発行2回 50・51号の発行（2023年7月、2023年12月予定）
- ⑦ 役員会の開催（年間6回程度の開催）
- ⑧ 基本調査実施・報告
- ⑨ 日本養護教諭関係団体連絡会の活動
- ⑩ 会員情報交換会
- ⑪ その他、本会の目的に合致する活動
- （7）2023年度予算（案）  
 総会資料7に基づき、提案され、承認された。

(8) 報告

日本養護教諭養成大学協議会におけるプライバシーポリシー（個人情報保護方針）及びサイトポリシーについて、総会資料 8 に基づき、遠藤会長より説明される。

## II 2022年度事業報告（2022.4から2023.3）

### II-1 役員会等議事録

#### 1) 第1回役員会議

日 時：2022年5月7日(土)13:00～15:40

オンライン開催

出席者：池添志乃、今野洋子、遠藤伸子、大川尚子、鎌塚優子、亀崎路子、鈴木裕子、竹鼻ゆかり、松枝睦美、三森寧子

議 事：①2022年度総会、養成教育フォーラム、養成教育セミナーについて  
②総会資料案について  
③ニューズレター計画案について  
④活動報告書について  
⑤2021年度収支報告ならびに2022年度予算について

#### 2) 第2回役員会議

日 時：2022年7月3日(日)13:00～14:40

オンライン開催

出席者：遠藤伸子、大川尚子、鎌塚優子、鈴木裕子、竹鼻ゆかり、松枝睦美、三森寧子

議 事：①2022年度総会、養成教育フォーラム、養成教育セミナーについて  
②総会資料案について  
③プライバシーポリシーおよびサイトポリシーについて

#### 3) 第3回役員会議

日 時：2022年8月3日(水)16:30～17:40

オンライン開催

出席者：池添志乃、今野洋子、遠藤伸子、大川尚子、鎌塚優子、竹鼻ゆかり、松枝睦美、三森寧子

議 事：①2022年度総会、養成教育フォーラム、養成教育セミナーについて  
②総会資料案について

#### 4) 第4回役員会議

日 時：2022年8月12日(金)10:00～11:20

オンライン開催

出席者：池添志乃、今野洋子、遠藤伸子、大川尚子、亀崎路子、鎌塚優子、鈴木裕子、竹鼻ゆかり、三森寧子

議 事：2022年度総会、養成教育フォーラム、養成教育セミナーについて

#### 5) 第5回役員会議

日 時：2022年9月5日(月)10:00～10:40

オンライン開催

出席者：池添志乃、今野洋子、遠藤伸子、大川尚子、鎌塚優子、亀崎路子、鈴木裕子、竹鼻ゆかり、三森寧子 業者2名

議 事：2022年度総会・講演・セミナーについて

6) 第6回役員会議

日 時：2022年9月15日(木)17:00～17:40

オンライン開催

出席者：今野洋子、遠藤伸子、大川尚子、鎌塚優子、亀崎路子、鈴木裕子、竹鼻ゆかり、松枝睦美、三森寧子

議 事：①2023年度の総会・講演・養成教育セミナーについて  
②会費について  
③活動報告書の形式について  
④会員校一覧表の掲載のあり方について

7) 第7回役員会議

日 時：2023年1月8日(日)10:00～11:30

オンライン開催

出席者：池添志乃、今野洋子、遠藤伸子、大川尚子、鎌塚優子、亀崎路子、鈴木裕子、松枝睦美、三森寧子

議 事：①臨時総会および来年度総会について  
②理事選出選挙について

8) 第8回役員会議

日 時：2023年3月13日(月)10:00～11:45

会 場：新大阪丸ビル別館 5-1号室 (ハイブリッド開催)

出席者：池添志乃、遠藤伸子、大川尚子、鎌塚優子、亀崎路子、鈴木裕子、竹鼻ゆかり、松枝睦美、三森寧子

議 事：①2023年度養成教育セミナーについて  
②2023年度総会、養成教育フォーラムについて  
③FD検討委員会活動計画について  
④活動報告書について  
⑤ニュースレターについて

## II-2 2022年度基本調査

2022年度基本調査は、7月下旬現在、加盟大学総数135大学中135大学から回答を得た（回答率100%）。基本調査の内容は、課程認定を受けている大学院・教職大学院・学部・短期大学・特別別科・専攻科等の機関名、入学定員・入学者数・養護教諭免許状取得者数ならびに編入制度の有無、研修に関する項目とした。

※（ ）内は2021年度基本調査

1) 4年制大学：123大学から回答があった（複数の学部・学科あり）。

	入学定員	2022年度入学者数	2021年度免許取得者数
合計	10575 (9592)	11020 (9206)	2224 (2017)
平均	88.1 (79.9)	91.8 (80.1)	18.8 (17.5)
最大値	330 (330)	292 (312)	91 (86)
最小値	5 (0)	5 (0)	0 (0)

2) 短期大学：6短期大学から回答があった。

	入学定員	2022年度入学者数	2021年度免許取得者数
合計	320 (340)	244 (298)	157 (173)
平均	53.3 (48.6)	40.7 (42.6)	26.2 (24.7)
最大値	70 (70)	70 (70)	57 (53)
最小値	30 (20)	15 (17)	11 (11)

3) 大学院・教職大学院（今年度より分けて集計したため前年度データなし。）

①大学院：38大学から回答があった。

	入学定員★	2022年度入学者数	2021年度免許取得者数
合計	498	226	29
平均	14.2	5.9	0.8
最大値	59	58	5
最小値	3	0	0

★定員数は他の専修と合わせて決められている大学院が多い。

②教職大学院：9大学から回答があった。

2022年度の入学者は合計39（最大20、最小1）名であった。2021年度の専修免許取得者数は合計15（最大6、最小0）名であった。

4) 専攻科：1種免許状を取得できる専攻科の5大学から回答があった。

	入学定員	2022年度入学者数	2021年度免許取得者数
合計	45 (75)	59 (57)	43 (29)
平均	15.0 (15.0)	14.8 (11.4)	10.8 (5.8)
最大値	20 (20)	34 (22)	30 (14)
最小値	10 (10)	2 (3)	1 (1)

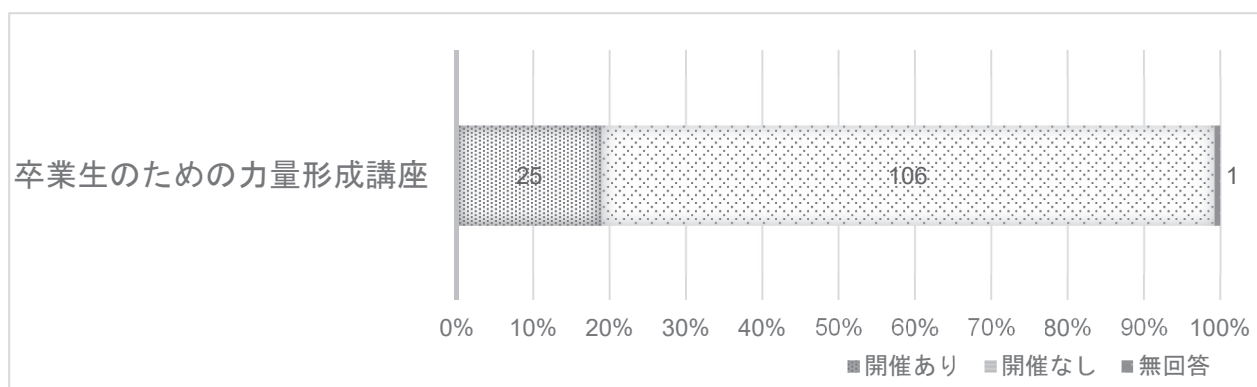
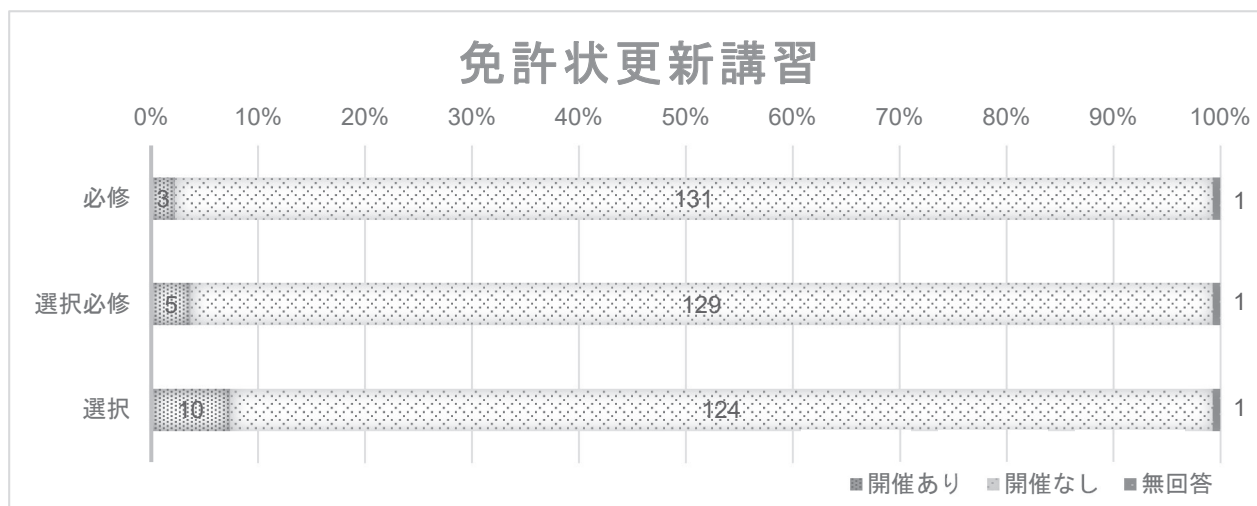
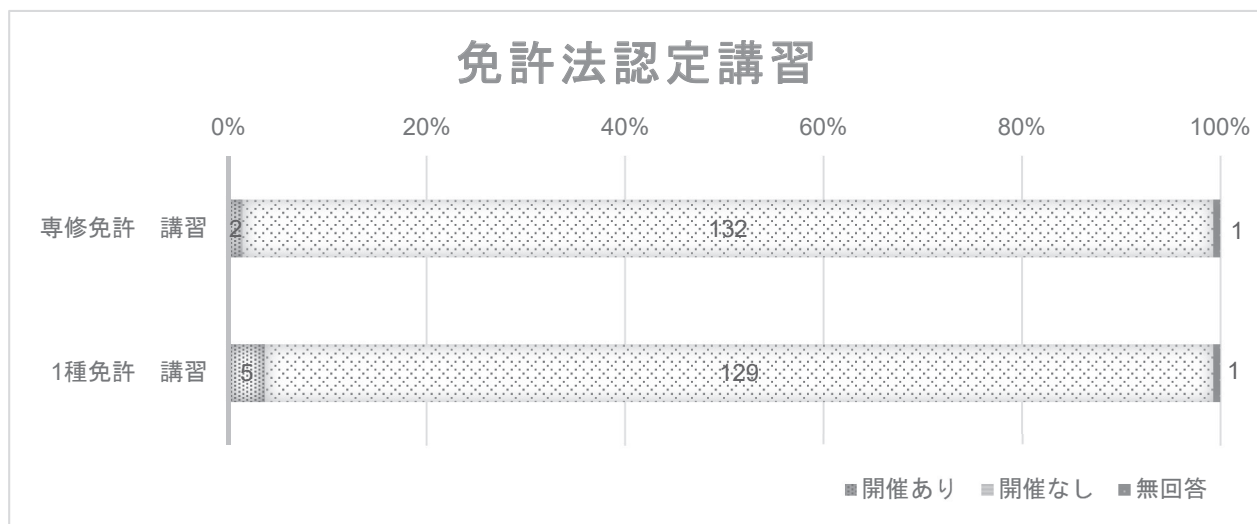
5) 特別別科：4大学の特別別科から回答があった。

	入学定員	2022年度入学者数	2021年度免許取得者数
合計	(160)	(98)	(133)
平均	(40.0)	(32.7)	(33.2)
最大値	(40)	(41)	(41)
最小値	(40)	(20)	(20)

6) 編入制度の有無：編入制度あり34大学

	入学定員	2022年度入学者数
合計	101	0
平均	6.7	0
最大値	30	0
最小値	0	0

7) 講座・研修等の開設状況

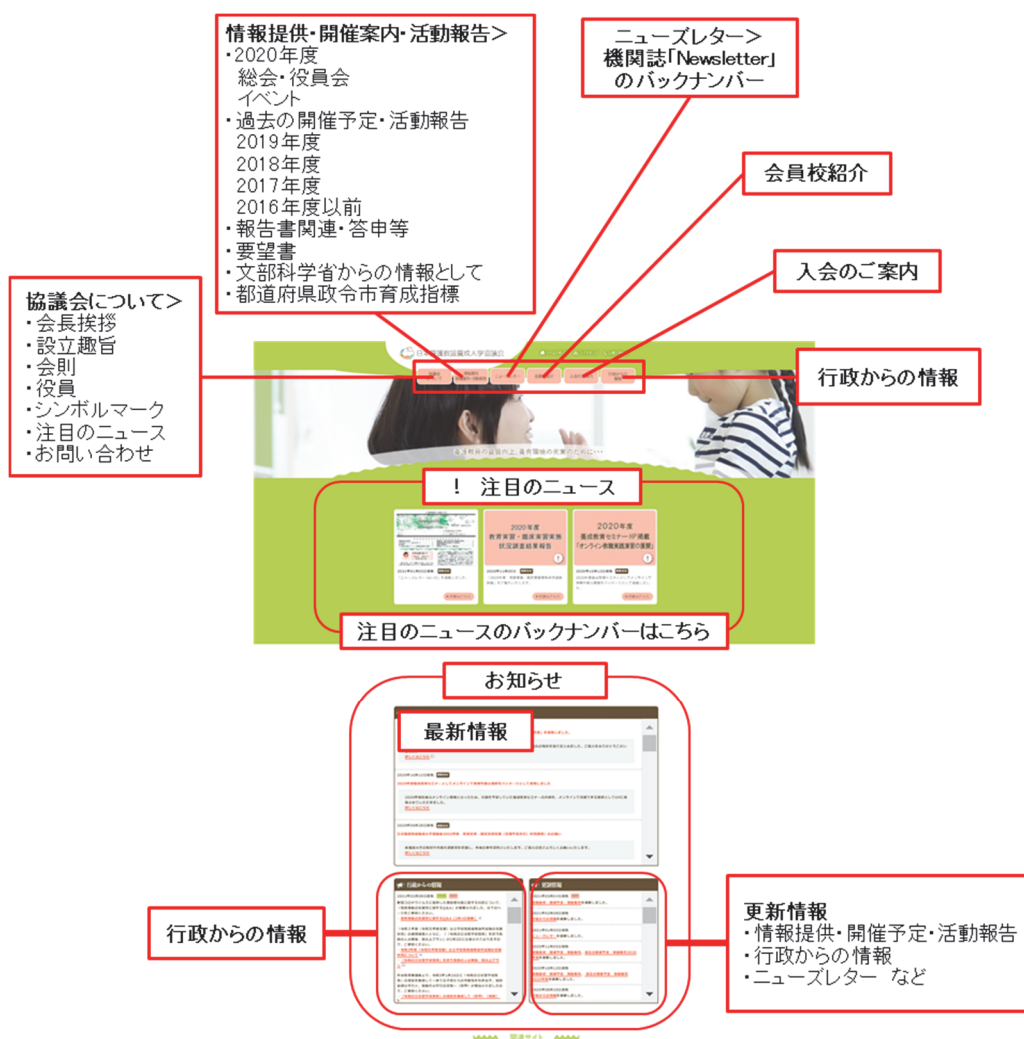


## II-3 ホームページ報告

本協議会のホームページは、広報・渉外委員会を中心に、活動報告や会員校の参考になり得る最新情報を迅速に情報配信するようにしている。

ホームページの構成は、ホームの上部には「協議会について」「情報提供・開催案内・活動報告」「ニューズレター」「会員校紹介」「入会のご案内」「行政からの情報」の頁へのタブメニュー、中央部には「注目のニュース」、下部には「お知らせ」のゾーンの中に「最新情報」、「行政からの情報」、「更新情報」があり、どこからでも、必要な情報に入っていけるようになっている。

2022年度は、FD委員会が取り組む「スキルアップ研修」の一環として「授業設計」のオンデマンド教材（会員限定）を掲載し、ワークショップと連動して会員の授業運営に活用できるようにした。また昨年度に続く新型コロナウイルス感染症への対応に関して、「行政からの情報」を随時掲載した。例年通り、2022年オンライン総会、講演、養成教育セミナーに関する案内と報告を掲載した。また、「会員校紹介」の頁を入退会等の動向を反映させて更新した。今後も、ホームページを通じてより有用な情報配信に努めていきたい。



日本養護教諭養成大学協議会ホームページ : <http://www.j-yogo.jp/>

## Ⅱ-4 ニュースレター報告

ニュースレターを2号発行した(第48号、第49号)。

主な内容は以下のとおりである。

### 1) 第48号(2022年7月1日発行)

- ・会長あいさつ
- ・2022年度総会・講演・養成教育セミナー(オンライン開催)のご案内
- ・新規入会大学の紹介(千里金蘭大学・清泉女学院大学・(県立広島大学)
- ・会員校だより～北から南から(島根大学・滋賀県立大学・茨城キリスト教大学)
- ・各委員会活動報告
- ・協議会活動報告、事務局及び会計からのお知らせ

### 2) 第49号(2023年2月28日発行)

- ・副会長あいさつ
- ・2022年度総会、臨時総会および講演の報告
- ・養成教育セミナー報告
- ・新連載「教職大学院での養成」
- ・トピックス「養護教諭及び栄養教諭の資質能力の向上に関する調査研究協力者会議」
- ・各委員会活動報告と養成教育セミナーのご案内
- ・協議会活動報告、事務局及び会計からのお知らせ



## Ⅱ-5 講演「学校保健に関する最新情報等について」報告

日時:2022年9月9日(金) 11:00~11:45

方法:リアルタイム型配信

講演テーマ:「学校保健に関する最新情報等について」

講師:松崎美枝氏(文部科学省健康教育・食育課健康教育調査官)

学校保健を取り巻く動向と課題について、詳細にお話しいただき、改めて養護教諭養成について深く考えることができました。

いまだパンデミックである新型コロナウイルス感染症に関して、「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」等は最新の知見に基づき随時改訂されていることから、常に最新の知識を理解する必要があります。学校における新型コロナウイルス感染症の感染状況を把握し、学校全体で共通理解を図るために、「学校における感染症対策実践事例集」等の活用が望ましいことが示されました。

本人および家族が健康診断情報を時系列で簡便にでき、日常生活における個人の行動変容や健康増進につながる学校健康診断情報の PHR(Personal Health Record)への活用についても理解を深める必要があります。また、養護教諭として、近年の児童生徒の近視実態について明らかにし、効果的な対応と予防に努めなければならないことが考えられました。アレルギー疾患や腎疾患・心疾患等の疾病の管理と予防について、児童生徒が可能な限り教育活動に参加でき、安心して学校生活を送ることができるよう学校全体で取組まなければならない、養護教諭の果たす役割は大きいといえます。

さらに、養護教諭及び栄養教諭の資質能力の向上に関する調査研究協力者会議での検討事項や養護教諭を取り巻く現状から、養成・採用・研修の充実について、新しい知見を得ることとなりました。

子供の心身の健康を担う養護教諭等の業務支援の充実に関することも大変興味深い内容でした。

(文責 今野洋子)

## Ⅱ-6 養成教育セミナー報告

日 時：2022年9月9日（金）12:30～16:30 オンライン開催

担 当：ファカリティ・ディベロップメント検討委員会

テーマ：養護教諭養成大学教員の授業実践力の向上－反転授業の設計－

### <趣旨>

令和の日本型学校教育として求められている「個別最適な学び」の実現に向けた一つの方策として、今後、反転授業が重要になる。コロナ禍により ICT を活用した授業が可能になった今こそ、反転授業を活用し、学生に主体的で深い学びを提供することができるため、本セミナーで模擬的に授業設計をすることで、会員の授業実践のスキルアップを目指す。

### <目的>

- ①反転授業を設計する際の具体的な行動イメージをもつことができる
- ②反転授業を用いた授業外学修を設計することができる
- ③反転授業の利点と課題を理解できる
- ④反転授業の機能と効果的な活用について理解できる

### <時程>

12:30-14:00 講演 熊本大学 川越明日香氏

14:20-15:50 グループワーク

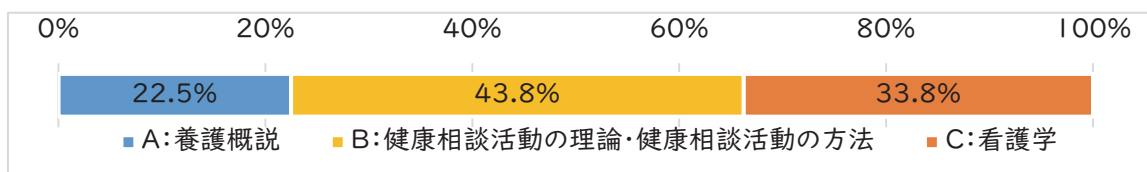
15:50-16:10 全体発表

16:10-16:25 まとめ

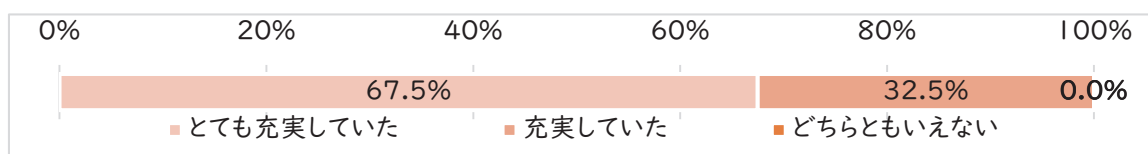
講演後分科会を実施した。Zoomのブレイクアウトルーム機能を使用し、科目区別にA 養護概説、B 健康相談活動の理論・健康相談活動の方法、C 看護学（臨床実習及び救急処置を含む）の3グループに分かれて実際に反転授業を設計するグループワークを実施した。

### 2022年度 養成教育セミナー アンケート結果（一部抜粋）

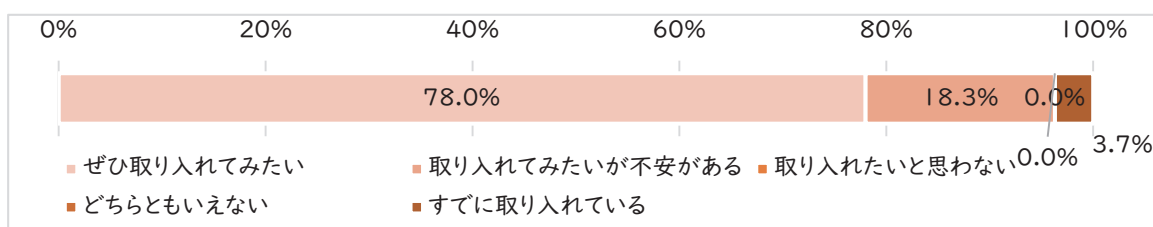
問 参加されたグループワーク（N数80）



問 充実したワークショップでしたか (N 数 80)



問 今後、反転授業をご自分の授業で取り入れたいと思いますか (N 数 82)



問「今後、反転授業をご自分の授業で取り入れたいと思いますか」に対する理由 (N 数 62)

すでに取り入れているが 2 件、ぜひ取り入れたいが 47 件、取り入れてみたいが不安があるが 13 件であった。回答の具体的な理由については以下に示す。

【すでに取り入れている】(2 件)

・既に取り入れており、メリットを感じている。今回のセミナーの経験を活かしていきたい。

【ぜひ取り入れたい】(47 件)

学生にとって主体的で深い学びにつながる

- ・学生の主体性が育つとともに、より深い学びにつながると思われる。
- ・学生の学びを深めるために効果的だと思った。
- ・学生が思わず身を乗り出すような、ワクワクする授業を実践したいと思えた。
- ・学生の興味関心が高まり、主体性と表現力コミュニケーション力が育つと思う。

教員として授業の質向上につながる

- ・教員も限られた授業時間でワークや考える、発表するという時間を確保し、有効に使うことができると思う。
- ・限られた時間数の中で、あれもこれも授業に取り入れたいと悩んできたが、到達目標を明確にし、事前学習と事後学修を行うことで、本時授業が学生主体の学びで成立できそうだと考えた。
- ・学生にとって有益な授業を展開できる教員に成長したいと考えており、授業の質向上に有効であると感じた。
- ・アクティブラーニング型授業の充実を図りたい。
- ・反転授業を取り入れる事で学生の変化を見たい。

反転授業を実践できる気がした

- ・具体的にイメージが持て、取り組めそうなアイデアが浮かび、学生に合った反転授業に

チャレンジしたいと思った。

- ・今まで反転授業に類似した形を取り入れていたが、今後はきちんとできると思え、背中を押された感じがした。

【取り入れてみたいが不安がある】(13件)

#### 具体的な反転授業の展開についてわからない

- ・学生の事前学習が一定のレベルに到達していない場合、反転授業をどのように展開すればよいのか不安。
- ・反転授業の基本的な考え方は勉強になったが、どのように進めればよいかわからない。
- ・実際に反転授業を参観したことがない。
- ・教員採用試験を考えると、知識伝達型になってしまう。

#### 学生の負担を考えると難しさを感じる

- ・授業外学習を求めると学生がバーンアウトしてしまう。学生の負担になりすぎない学習内容の提示が難しい。
- ・過密なカリキュラム上、事前事後学習時間が多いと、課題が終わらなくて眠れないという今の学生の声に理想と現実を考えてしまう。
- ・学生は多くの授業を受講しているので、空き時間も少なく、事前事後学習時間の確保が難しいことが考えられる。
- ・すべての学生が予習を適切に実施することへの不安がある。

#### 教員が準備できるか不安

- ・教員自身が勉強不足。
- ・本当に実施できるか、事前課題の設定や事例検討などの事例の準備等の時間を十分に取ることができるか不安。
- ・15回の授業全部に取り入れるのは、教員にとっても学生にとっても難しいと思う。

#### 今後の課題と展望

事後アンケートの結果からも反転授業を設計する際の具体的な行動イメージをもつことができたことや反転授業を用いた授業外学修を設計することや反転授業の利点と課題について、及び反転授業の機能と効果的な活用について理解が深まるなど、ワークショップにおける一定水準の目的を達成することができたといえる。しかしながら、学生への負担感や教員の事前準備の時間確保、反転授業の具体的な展開など多くの課題が残された。今後これらの課題に応答すべき研修やワークショップの必要性が明らかとなった。

## Ⅱ-7 ワークショップ報告

養成教育セミナーご参加の皆様からのご要望を受けて、その続編として反転授業のワークショップを開催した。

日 時：2023年3月13日（月）13:30～16:30

会 場：新大阪丸ビル別館（大阪市東淀川区東中島1丁目18-22）

対 象：日本養護教諭養成大学協議会会員校所属の教員

参加費：無料

主 催：日本養護教諭養成大学協議会

担 当：ファカルティ・ディベロップメント検討委員会

### <趣旨>

2022年度 日本養護教諭養成大学協議会 養成教育セミナーでは、個別最適な学びの実現に向けた反転授業の設計について講演とワークショップを実施した。事後アンケートから「反転授業についてより詳しく知りたい、知識以外の習得についても教えて欲しい」等の声を多数いただいたことを受け、「続・反転授業を設計する」というテーマで、学生の深い学びを促す反転授業について、シラバス作成のワークを行いながら参加者とともに考える対面型のワークショップを企画した。

### <内容>

2022年度の養成教育セミナーにおける「反転授業を設計する」グループワークで作成した養護教諭養成教育に関わる科目の反転授業の案をもとに、1グループ4～5名に分かれて、科目ごとに学生の深い学びを促す反転授業を設計するワークを行った。

### <到達目標>

- 学生の学修意欲を喚起する授業外学修を設計することができる。
- 学生の深い学びを促す反転授業を設計することができる。
- 反転授業の利点と課題を理解し、効果的な活用について考えることができる。

### <時程>

- ①13:30-14:00 講演 深い学びを促す反転授業の設計  
講師 熊本大学 川越明日香氏
- ②14:00-16:00 グループワーク
- ③16:00-16:30 まとめ

## ワークショップの評価 事後アンケート結果（一部抜粋）

### 【満足度】

満足度	人数
とても満足	10
やや満足	1
総計	11

### 【反転授業の実践について】

取り入れる時期	人数
すぐに取り入れたい(半年以内)	9
いつかは取り入れたい(半年～1年以内)	2
総計	11

### 【理解度】

理解度	人数
十分理解できた	6
理解できた	5
総計	11

### 【ワークショップ開催時期】

開催時期	人数
何かの学術集會に合せて開催する	4
3月ごろ	4
9月の総會、セミナーに合せて開催する	3
総計	11

### 【グループ別満足度】

	とても満足	やや満足	総計
A: 養護概説	2		2
B: 健康相談活動の理論・健康相談活動の方法	3	1	4
C: 看護学(臨床実習及び救急処置を含む)	5		5
総計	10	1	11

### 【グループ別理解】

	十分理解	理解	総計
A: 養護概説	1	1	2
B: 健康相談活動の理論・健康相談活動の方法	3	1	4
C: 看護学(臨床実習及び救急処置を含む)	1	4	5
総計	5	6	11

### 【今後のワークショップの希望テーマ】

#### 反転授業に関すること

- ・今回のような内容や発展、また授業設計のやり直し
- ・反転授業の授業評価
- ・続反転授業: 授業展開編

#### 授業設計～評価に関すること

- ・授業設計 ・ 授業構想
- ・ 授業改善
- ・ ルーブリック評価の作成

#### その他

- ・ 関心ある研究テーマや研究計画のディスカッション
- ・ 養護教諭養成教育のカリキュラムマネジメントや教育方法に関する内容（基礎教育としておさえるべき内容の確認）
- ・ 現職者向けに提供する内容とその方法
- ・ 養護教諭に必要な看護学（看護学について先生方の意見や考えを聞きたい）

#### <感想・要望>

- ・ 場所も便利で、会場もとてもアクセスも施設も良かった。
- ・ 久しぶりに対面のセミナーに参加し、対面講義のすばらしさを体感した。改めて対面の良さを実感した。
- ・ セミナーを開催していただいたことに感謝。役員の先生方、FD委員の先生方ありがとうございました。
- ・ 川越先生の講義はお手本そのもので、とても楽しい時間だった。学んだ！私もする！と思えた講義だった。
- ・ 川越先生の解説がわかりやすく、グループワークも楽しく、充実した学びとなった。
- ・ ワークショップではほとんど発言できなかったが、同席することで学びを深められ、有意義な時間になった。

### 今後の課題と展望

参加者からは、「対面でのセミナーの良さ」や「有意義な時間となった」といった感想が寄せられ、満足度の高いワークショップとなった。目標や評価、学生の学修意欲を喚起する授業外学修等学生の深い学びを促す反転授業の設計について、直接対面で議論をすることで、養成教育セミナーよりも更に理解が深まり、実践に繋がる学びが得られたのではないかと推察された。



## Ⅲ 検討委員会報告

### Ⅲ－１ 教育課程（カリキュラム）・養成制度（法制度）検討委員会

#### 1. 今年度の活動内容

教育課程（カリキュラム）・養成制度（法制度）検討委員会では、前期に、これまでの検討委員会の成果から、各大学の養成教育へ生かすことのできる本協議会独自の「養護教諭養成モデル・コア・カリキュラム」を作成しました。

この「養大協版コアカリ 2020」を活用することで、どの学問体系を基盤とする養護教諭養成課程においても、卒業時に習得しておくべき力の明確化を図ることができ、養護教諭の資質の担保につながると考えます。

今期の検討委員会の活動は、本協議会独自の「養大協版コアカリ 2020」を活用することが養護教諭の資質の担保につながると考え、コアカリキュラムの効果的な活用方法を検討することを目標としています。

第1回検討委員会を6月4日に開催し、今年度、検討委員の大学の学生を対象に「コアカリ活用についての実態調査」を実施するための、倫理審査や質問紙調査の内容を検討しました。

第2回検討委員会を8月28日に開催し、教職実践演習を履修する4年生を対象に、授業の後半に調査する最終調整を行いました。

第3回検討委員会を2月12日、第4回検討委員会を2月18日に開催し、実態調査の集計・分析を進め、同時に来年度の養成教育セミナーの計画を立案しました。

「養大協版コアカリ 2020」の普及に向けて、活用の結果を報告し、他大学でも活用拡大をしていただけるようなセミナーを目指しています。

#### 2. 委員会報告

##### 第1回委員会

日時：2022年6月4日（土曜日） 10:00～12:00

場所：Zoomによるオンライン会議

出席：大川尚子（委員長）、青柳直子、今野洋子、上原美子、諏澤ひろえ、高田恵美子、前田美穂、毛利春美（記録） 欠席：池添志乃、亀崎路子

##### 1. 今年度の活動計画について

- 1) 検討委員の大学で学生を対象にコアカリ活用についてのアンケート調査を実施
- 2) 倫理審査について
- 3) 調査項目について
- 4) 実施方法について

##### 2. 今後の活用について

- 1) コアカリ普及に向けて、他大学でも活用拡大を目指し、活用調査を行う。

##### 第2回委員会

日時：2022年8月28日（土曜日） 13:00～14:20

場所：Zoomによるオンライン会議

出席：大川尚子（委員長）、青柳直子、上原美子、亀崎路子、諏澤ひろえ、高田恵美子、前田美穂、毛利春美、池添志乃（記録） 欠席：今野洋子

1. 日本養護教諭養成大学協議会「養大教コアカリ 2020」アンケート調査について
  - 1) google フォームの調査項目等の確認・検討
  - 2) アンケート調査方法について
  - 3) 調査時期について
2. その他
  - 1) 今後の調査研究の進め方について

### 第3回委員会

日時：2023年2月12日（日）10:00～11:20

場所：Zoomによるオンライン会議

出席：大川尚子（委員長）、今野洋子、青柳直子、上原美子、諏澤ひろえ、高田恵美子、前田美穂、毛利春美（記録） 欠席者：、池添志乃、亀崎路子

1. 日本養護教諭養成大学協議会コアカリアンケートについて
  - 1) 回収データについて
2. 養成教育セミナーについて
3. 次回委員会に向けたワーキング
  - 1) 「養大教コアカリ2020」活用WG
  - 2) 「養大教コアカリ2020」学生調査WG
4. 今後の流れについて

### 第4回委員会

日時：2023年2月18日（土曜日） 10:00～12:00

場所：Zoomによるオンライン会議

出席：大川尚子（委員長）、池添志乃、今野洋子、亀崎路子、上原美子、諏澤ひろえ、高田恵美子、毛利春美（記録） 欠席者：青柳直子、前田美穂

1. ワーキンググループ活動報告
  - 1) 学生調査WGからの報告
  - 2) コアカリ活用WGからの報告
2. 今後のセミナーについて
  - 1) ワークショップの柱について
  - 2) 参加方法について

教育課程（カリキュラム）・養成制度（法制度）検討委員会委員

◎委員長：大川尚子（京都女子大学） ○副委員長：今野洋子（北翔大学）

委員：青柳直子（茨城大学）、池添志乃（高知県立大学）、上原美子（埼玉県立大学）、亀崎路子（杏林大学）、諏澤ひろえ（京都光華女子大学）、高田恵美子（畿央大学）、前田美穂（東京医療保健大学和歌山校）、毛利春美（畿央大学）（50音順）



## Ⅲ-2 ファカルティ・ディベロップメント（FD）検討委員会

### 1. 今年度の活動内容

2022年度は、次の3つの活動を実施しました。

- ①動画コンテンツの作成及び配信、②養成教育セミナーにおけるワークショップの開催、③ワークショップの開催

#### 1) 動画コンテンツの作成及び配信

(1)授業設計：2022年7月作成配信

前半：授業設計・シラバスの考え方／後半：担当科目のシラバスについての解説。

(2)学修評価：2023年1月より作成開始3月配信

前半：学修評価の考え方と方法／後半：具体的な学修評価の方法としてのルーブリックの例示及び解説。

#### 2) 養成教育セミナーにおけるワークショップの開催

テーマ「反転授業を設計する」

日時：2022年9月9日（金）12:30～16:30（オンライン開催）

#### 3) ワークショップの開催

2022年度養成教育セミナーで実施したワークショップの続編として実施しました。

テーマ「続・反転授業を設計する」

日時：2023年3月13日（月）13:30～16:30

会場：新大阪丸ビル別館（大阪市東淀川区東中島1丁目18-22）

### 2. 委員会報告

#### 第1回委員会

日時：2022年4月23日（土）13:00～17:00、24日（日）10:00～13:00

会場：Comfort Space 品川 品川ステーションビル 10階 B号室（ハイブリッド開催）

出席者：鎌塚、川越、齋藤、出口、西岡、三森

内容：セミナーの計画及び進行、シミュレーション、オンデマンド型研修コンテンツの内容検討

#### 第2回委員会

日時：2022年6月1日（水）11:30～12:30（オンライン会議）

出席者：鎌塚、川越、齋藤、出口、西岡、三森

内容：オンデマンド型研修コンテンツ動画試作品の検討

#### 第3回委員会

日時：2022年8月12日（金）11:10～12:30（オンライン会議）

出席者：鎌塚、川越、齋藤、出口、西岡、三森

内容：養成教育セミナー運営企画の係分担、記録者、ファシリテーターについて

#### 第4回委員会

日時：2022年8月27日（土）10:00～12:15（オンライン会議）

出席者：鎌塚、川越、出口、西岡、三森

内容：養成教育セミナーのグループ分け、運営について

#### 第5回委員会

日時：2022年9月8日（木）15:00～17:00（オンライン会議）

出席者：鎌塚、出口、西岡、三森

内容：養成教育セミナーリハーサル

#### 第6回委員会

日時：2022年10月26日（水）16:30～18:00（オンライン会議）

出席者：鎌塚、川越、齋藤、西岡、三森

内容：①動画コンテンツについて（教育方法・評価） ②ワークショップについての検討

#### 第7回委員会

日時：2022年11月30日（水）16:30～17:30（オンライン会議）

出席者：鎌塚、川越、西岡、三森

内容：ワークショップについての検討

#### 第8回委員会

日時：2022年2月22日（木）9:00～10:15（オンライン会議）

出席者：小川、鎌塚、川越、齋藤、三森

内容：①動画コンテンツの内容検討 ②ワークショップ企画案、参加申し込みフォームの検討

#### 第9回委員会

日時：2023年3月12日（日）15:00～17:00

会場：【メゾン Room903】メゾン第3新大阪

出席者：鎌塚、川越、齋藤、西岡、三森

内容：ワークショップ最終打合せ

#### ファカルティ・ディベロップメント（FD）検討委員会委員

◎委員長：鎌塚優子（静岡大学） ○副委員長：三森寧子（千葉大学）

委員：齋藤千景（埼玉大学）、出口奈緒子（静岡大学）、西岡かおり（四国大学）（50音順）

### Ⅲ-3 広報・渉外委員会

「広報・渉外委員会」は、会則第11条に3つ目の委員会として2020年度から位置付けられて活動しています。ニュースレターの発行と、ホームページでの情報配信が主な活動です。

#### 1. ニュースレター

2022年度からニュースレターは年2回の発行となりました。2022年7月1日に第48号、2023年2月28日に第49号を発行しました。ニュースレターを通じて会員の交流が深まることを願い、第48号では、新規入会大学のご紹介や、会員校だよりとして3校の会員校の近況等をご執筆いただきました。また第49号では、文部科学省における「養護教諭及び栄養教諭の資質能力の向上に関する調査研究協力者会議」の論点や「議論の取りまとめ」の内容等について、同会議委員の三木とみ子氏にご執筆をお願いしました。また新連載として、教職大学院での養護教諭養成についての新連載を開始しました。

#### 2. ホームページ

ホームページでは、本会の活動の報告を中心に、会員校の参考になり得る最新情報を迅速に掲載するよう努めています。

「注目のニュース」、「最新情報」（総会・役員会イベントの案内や報告等）、「行政からの情報」、「ニュースレター（PDF版）」「会員校紹介」その他で構成されています。

2022年度は、総会資料や役員会等の活動報告、最新のニュースレターについて、その都度更新を行いました。またFD委員会が取り組むオンデマンド型研修コンテンツ動画の掲載、会員校の情報更新、そして「行政からの情報」のページへの文部科学省からの通知等の迅速な掲載を行い、会員校への情報提供に努めました。

今後は、ホームページに各種委員会の活動成果を積極的に掲載し、会員校が活用することで、養護教諭養成教育のいっそうの充実と発展に寄与できるよう、さらに努力していく予定です。

広報・渉外委員会委員：亀崎路子（杏林大学）、鈴木裕子（国士舘大学）

## IV 規約

### IV-1 日本養護教諭養成大学協議会会則

#### (名称)

第1条 本会は、日本養護教諭養成大学協議会（以下「協議会」という。）と称する。

#### (目的)

第2条 本協議会は、養護教諭養成に関わる大学、短期大学（部）および大学院以下、「養護教諭養成大学」と称す。）相互の提携と協力によって学術と教育の発展に寄与し、養護教諭養成の進展に関わる高等教育機関の使命達成に貢献することを目的とする。

#### (事業)

第3条 目的を達成するために次の事業を行う。

- 一 養護教諭養成における教育課程（カリキュラム）の研究に関する事業
- 二 養護教諭養成の制度及び法制度の検討と研究に関する事業
- 三 養護教諭養成にかかわる教員の資質向上を図る事業
- 四 養護教諭養成に関する全国的規模の情報交換、連絡協議を図る事業
- 五 養護教諭養成教育に関する社会的活動・提言に関する事業
- 六 その他、本協議会の目的を達成するための事業

#### (会の構成)

- 第4条 会員大学は、養護教諭養成に関わる「養護教諭養成大学」とする。
- 2 会員は、会員大学の養護教諭養成に関わる専任教員とする。
  - 3 会員大学は、会員のうち2名以内を評議員として届ける。
  - 4 会員大学は、毎年度5月末日までに、必要事項を所定の様式により会長に届け出る。
  - 5 役員会は、入会を申し出た大学について審査の上承認する。
  - 6 退会を希望する大学は、会長に届ける。

#### (会費)

- 第5条 会費は毎年度7月末日までに納入しなければならない。
- 2 会費は、会員大学1校につき年額3万円とする。
  - 3 7月末日までに未納の場合は、総会の議決権を失う。
  - 4 2年間会費を滞納した大学は、会員大学としての資格を失う。

#### (役員)

第6条 本協議会に、次の役員を置く。

- 一 会長 1名
- 二 副会長 2名
- 三 理事 7名
- 四 監事 2名

第7条 会長は、本協議会を代表し会務を処理する。

2 会長は、会議を招集しその議長となる。

3 副会長は、会長を補佐し、会務を担当する。また、会長に事故のあるときはその職務を代行する。

4 理事は、本協議会の事業を分担し、円滑な運営を図る。

5 監事は、本協議会の会計を監査する。

(役員を選出)

第8条 役員は、評議員から選出し、定期総会において承認する。

2 役員任期は3年とし、再任を妨げない。

3 役員選出方法は別に定める。

(総会及び役員会)

第9条 総会は、毎年1回定期に開催する。

2 臨時総会は、会長が必要と認めたときに開催する。

3 総会は、会員大学の過半数の出席および委任状により成立する。

4 総会における議決権は、各会員大学1票とする。評議員の1名が議決権及び選挙権を有し、これらを行使する。

5 評議員の委嘱を受けた会員は、議決権を代行できる

6 総会における議決は、出席した会員大学の過半数の同意による。

第10条 役員会は、会長が必要と認めたときに開催する。

2 役員会は、会長、副会長、理事、事務局で構成し、会長が必要と認めたときは監事が加わる。

(委員会)

第11条 目的を達成するために下記の委員会を置く。

- 一 教育課程(カリキュラム)検討委員会
- 二 養成制度(法制度)検討委員会
- 三 ファカルティ・ディベロップメント(FD)検討委員会
- 四 広報・渉外委員会
- 五 その他

(運営費)

第12条 本協議会の運営費には、会員大学の会費、その他の収入をもって充てる。

2 会計年度は、4月1日から翌年3月31日とする。

(事務局)

第 13 条 本協議会の事務局は、会長が定めるところに置く。

2 会務の処理にあたっては、会長が所属する大学または、理事の中から担当者を置くことができる。

(会則の改正)

第 14 条 この会則の改正は総会において、出席大学の 3 分の 2 以上の同意を必要とする。

附則 この会則は、2005 年 11 月 26 日から施行する。

附則 2007 年 9 月 17 日に一部改正した。2008 年 4 月 1 日から施行する。

附則 2009 年 9 月 4 日に一部改正した。第 4 条、第 5 条、第 9 条の一部改正については、2010 年 4 月 1 日から施行する。第 6 条、第 8 条の一部改正については 2012 年 4 月 1 日から施行する。

附則 2013 年 9 月 6 日に一部改正し、同日より施行する。

附則 2016 年 9 月 2 日に一部改正し、2017 年 4 月 1 日から施行する。

附則 2019 年 9 月 10 日に一部改正し、同日より施行する。

## IV-2 日本養護教諭養成大学協議会役員会規程

### (会の構成)

- 第1条 役員会は、評議員の中より選出された10名の理事により構成する。会長及び副会長は、理事の互選により決める。
- 2 監事は、会長が会員の中から2名を推薦し、総会の議を経て委嘱する。

### (役割)

- 第2条 役員会は、本協議員会の事業、研究・研修、会務の重要事項を審議し、総会に議事を提案する。また、総会の議決に従い、会務を執行する。

### (会の招集)

- 第3条 役員会の招集は、会長が行なう。必要に応じてメール会議等に代えることができる。

### (担当理事の責務)

- 第4条 理事は、本協議会の事業を推進し、役員会、総会に報告する。
- 2 各委員会には、担当理事を置く。

### (役員の解任及び補充)

- 第5条 役員が次の各号の一に該当するときは、役員会の承認により解任することができる。
- 一 会員資格を失ったとき
  - 二 心身の故障または個人の事情等により職務の執行が困難と認められるとき
  - 三 その他、役員たるにふさわしくない行為があると認められるとき
- 2 解任された理事の補充は補欠者名簿に基づいて行い、任期は前任者の残任期間とする。
- 3 解任された監事の補充は会長が会員の中から推薦し委嘱する。

### (改正)

- 第6条 この規程の改正は、総会において、出席会員大学の3分の2以上の同意を必要とする。

附則 この規程は、2006年9月8日から施行する。

附則 この規程は、2009年9月4日に一部改正し、2012年4月1日から施行する。

附則 この規程は、2013年9月6日に一部改正し、同日より施行する。

### IV-3 日本養護教諭養成大学協議会理事選出に関する規程

(選挙管理委員会)

- 第1条 役員会は、会員の中から3名の選挙管理委員を委嘱する。
- 2 選挙管理委員は、選挙管理委員会（以下、「委員会」と称す。）を組織する。
  - 3 委員会に委員長を置く。委員長は選挙管理委員の互選によって定める。

(選挙権)

- 第2条 理事の選挙権は、選挙実施年度の前年度の会費を納入した会員大学に認める。

(選挙権及び被選挙権を有する評議員の届け出)

- 第3条 各会員大学は、毎年度5月末日までに、選挙権及び被選挙権を有する評議員1名を選出し、会長に届け出る。

(理事の選出)

- 第4条 委員長は、事務局に会員大学を代表する評議委員1名を明記した名簿を要請する。
- 2 委員会は、前項の名簿に基づき「被選挙者名簿」を作成し会員大学に配布する。
- 第5条 選挙期日は、役員会で決定し、会長が評議員に告示しなければならない。
- 第6条 選挙は無記名投票により行い、告示した日までの消印で委員会に到着したものについて、委員会が開票を行う。
- 第7条 投票は会員大学の選挙権をもつ評議員1名が、役員候補者10名を連記する。
- 第8条 次の投票は無効とする。
1. 正規の投票用紙及び封筒を用いないもの。
  2. 外封筒に記名のないもの。
  3. 被選挙者名簿に登録されていないものを記入したもの。
  4. その他、理事選出に関する規程に反するもの。
- 第9条 委員会は有効投票を多数得たものから10名を当選とする。
- 2 同数の有効投票を得たものについては、委員長が抽選により当選を決定する。
  - 3 委員会は役員解任があるときの補欠者名簿（得票順に若干名）を作成し、新役員会に申し送る。



第 10 条 当選が決定したときは、委員会は当選者に当選を通知し、その承諾を得る。

2 当選者が辞退したときは、次点のものから順に繰り上げて当選とし承諾を得る。

第 11 条 役員の名簿を委員会が作成し、総会の承認を得る。

附則 この規程は、2006年9月8日から施行する。

附則 この規程は、2008年9月5日に一部改正し、同日から施行する。

附則 この規程は、2009年9月4日に一部改正し、同日から施行する。

附則 この規程は、2010年9月3日に一部改正し、同日から施行する。

附則 この規程は、2013年9月6日に一部改正し、同日より施行する。

# V 2022年度 日本養護教諭養成大学協議会 加盟大学一覧

加盟大学数135大学（大学129、短大6）

2022.7.31現在

都道府県	大学番号	大学名	学部・学科・コース等	都道府県	大学番号	大学名	学部・学科・コース等	
北海道	1	北海道教育大学札幌校	教育学部養護教育専攻	岐阜県	48	岐阜県立看護大学	育成期看護学	
	2	北翔大学	教育文化学部・教育学科		128	岐阜聖徳学園大学	看護学部 看護学科	
青森県	3	弘前大学	教育学部養護教諭養成課程	三重県	117	鈴鹿大学	こども教育学部こども教育学科	
	4	八戸学院大学	健康医療学部 人間健康学科		愛知県	50	愛知教育大学	教育学部教育科学系養護教育講座
秋田県	137	日本赤十字秋田看護大学	看護学部	51		愛知学院大学	心身科学部健康科学科	
岩手県	5	岩手県立大学	看護学部 地域看護学 学校保健看護学分野	52		愛知みずほ大学	心身健康科学科 養護・保健コース	
山形県	6	山形大学	地域教育文化学部	53		中部大学	生命健康科学部 作業療法学科	
宮城県	7	公立大学法人宮城大学	看護学群	54		東海学園大学	教育学部・教育学科・養護教諭専攻	
	8	仙台大学	体育学部 健康福祉学科	55		名古屋学芸大学	ヒューマンケア学部・子どもケア学科	
	9	東北福祉大学	総合福祉学部・福祉心理学科	56		相山女学院大学	看護学部・看護学科	
	10	宮城学院女子大学	教育学部教育学科健康教育専攻専攻	57		人間環境大学	看護学部看護学科 養護教諭コース	
茨城県	11	茨城大学	教育学部養護教諭養成課程	京都府		58	京都橋大学	看護学部看護学科
	12	茨城キリスト教大学	看護学部看護学科			59	京都女子大学	発達教育学部教育学科 養護・福祉教育学専攻
	134	常盤大学	看護学部・看護学科		60	京都光華女子大学	健康科学部 看護学科	
	136	筑波大学	医学医療系		61	同志社女子大学	看護学部看護学科	
群馬県	14	高崎健康福祉大学	保健医療学部・看護学科		127	花園大学	社会福祉学部児童福祉学科	
	15	東京福祉大学	教育学部・教育学科		62	大阪教育大学	教育学部 養護教育部門	
	16	群馬医療福祉大学	看護学部		64	公立大学法人大阪 大阪公立大学	看護学部 看護学科	
	17	桐生大学	医療保健学部 看護学科		65	関西福祉科学大学	健康福祉学部 健康科学科	
栃木県	124	足利大学	教職課程センター		大阪府	66	藍野大学	医療保健学部看護学科
埼玉県	18	埼玉大学	教育学部学校保健学講座			67	四天王寺大学	教育学部教育学科
	19	埼玉県立大学	保健医療福祉学部 共通教育科	68		梅花女子大学	看護保健学部・看護学科	
	20	十文字学園女子大学	教育人文学部心理学科	69		帝塚山学院大学	人間科学部 心理学科	
	21	女子栄養大学	栄養学部 保健養護学研究室	129		桃山学院教育大学	人間教育学部 人間教育学科	
千葉県	23	千葉大学	教育学部	140		森ノ宮医療大学	医療技術学部・鍼灸学科	
	24	聖徳大学	心理・福祉学部 社会福祉学科	144		千里金蘭大学	看護学部 看護学科	
	25	城西国際大学	看護学部・看護学科	和歌山県		34	東京医療保健大学	和歌山看護学部看護学科
	26	千葉科学大学	看護学部看護学科			71	関西福祉大学	大学院看護学研究科看護学専攻
	27	了徳寺大学	教養部	72		甲南女子大学	看護リハビリテーション学部・看護学科	
	132	順天堂大学	スポーツ健康科学部	兵庫県	73	園田学園女子大学	人間健康学部 総合健康学科	
138	淑徳大学	総合福祉学部教育福祉学科	75		兵庫大学	健康科学部健康システム学科		
22	東洋大学	ライフデザイン学部健康スポーツ学科	76		神戸常盤大学	保健科学部・看護学科		
28	東京学芸大学	教育学部	77		姫路大学	教育学部こども未来学科		
29	杏林大学	保健学部 看護学科 看護養護教育学専攻	78		神戸女子大学	看護学部看護学科		
30	国士舘大学	文学部教育学科	143		兵庫県立大学	看護学部・看護学研究科		
東京都	31	聖路加国際大学	看護学部看護学科		奈良県	79	奈良教育大学	保健体育講座
	32	上智大学	総合人間科学部 看護学科			80	畿央大学	教育学部 現代教育学科
	33	日本体育大学	体育学部・健康学科		滋賀県	82	滋賀県立大学	人間看護学部 人間看護学科
	35	東京家政大学	人文学部心理カウンセリング学科			島根県	84	島根大学
	130	東京女子医科大学	看護学部看護学科	岡山県	85		岡山大学	学術研究院教育学域（養護教諭）
	141	帝京大学	医療技術学部スポーツ医療学科		86	川崎医療福祉大学	医療技術学部 健康体育学科	
	142	武蔵野大学	看護学部		87	吉備国際大学	保健医療福祉学部	
	37	神奈川県立保健福祉大学	保健福祉学部・看護学科		88	山陽学園大学	看護学部 看護学科	
	38	鎌倉女子大学	家政学部家政保健学科		89	就実大学	教育学部教育心理学科	
	神奈川県	39	北里大学看護学部	看護学部	139	新見公立大学	健康科学部看護学科	
40		国際医療福祉大学	小田原保健医療学部看護学科	広島県	90	広島大学	医学部保健学科	
41		横浜創英大学	看護学部		91	広島文化学園大学	看護学部看護学科	
125		東海大学	医学部看護学科		92	福山平成大学	福祉健康学部 健康スポーツ科学科	
新潟県	42	新潟医療福祉大学	看護学部看護学科		131	安田女子大学	心理学部現代心理学科	
	43	新潟青陵大学	看護学部看護学科		145	県立広島大学	保健福祉学部保健福祉学科	
石川県	44	金沢大学	人間社会研究域学校教育系		山口県	93	山口県立大学	看護栄養学部・看護学科
福井県	45	福井県立大学	看護福祉学部 看護学科	94		宇部フロンティア大学	看護学部看護学科	
	133	福井医療大学	保健医療学部 看護学科	香川県	135	香川大学	医学部看護学科	
長野県	46	松本大学	人間健康学部 スポーツ健康学科		徳島県	95	徳島大学	医学部保健学科
	146	清泉学院大学	看護学部 看護学科	96		四国大学	生活科学部 人間生活科学科	
静岡県	47	聖隷クリストファー大学	看護学部 看護学科	愛媛県	97	徳島文理大学	人間生活学部人間生活学科	
	126	静岡大学	教育学部学校教員養成課程養護教育専攻		98	愛媛大学	医学部看護学科	

都道府県	大学番号	大学名	学部・学科・コース等
高知県	99	高知大学	医学部看護学科
	100	高知県立大学	看護学部
福岡県	101	福岡大学	医学部看護学科
	102	福岡県立大学	看護学部
	103	西南学院大学	保健福祉学部 看護学科
長崎県	104	長崎県立大学	看護栄養学部看護学科
	105	活水女子大学	健康生活学部子ども学科
熊本県	106	熊本大学	教育学部養護教育講座
	107	九州看護福祉大学	看護福祉学部口腔保健学科
大分県	108	大分県立看護科学大学	看護学部看護学科
鹿児島県	109	鹿児島純心女子大学	看護栄養学部看護学科
	123	志学館大学	人間関係学部 心理臨床学科
沖縄県	110	琉球大学	医学部・保健学科
	111	名桜大学	人間健康学部スポーツ健康学科
東京都	112	帝京短期大学	生活科学科生活科学専攻
長野県	113	飯田女子短期大学	家政学科家政専攻
愛知県	116	愛知みずほ短期大学	生活学科生活文化専攻
大阪府	118	関西女子短期大学	養護保健学科
兵庫県	119	湊川短期大学	人間生活学科学科
高知県	120	高知学園短期大学	看護学科
福岡県	121	九州女子短期大学	子ども健康学科・専攻科

## 日本養護教諭養成大学協議会 役員一覧表 (2022年度)

会 長(事務局)	遠藤 伸子	(女子栄養大学)
副会長	池添 志乃	(高知県立大学)
副会長	竹鼻 ゆかり	(東京学芸大学)
理 事	今野 洋子	(北翔大学)
理 事	大川 尚子	(京都女子大学)
理 事	鎌塚 優子	(静岡大学)
理 事	亀崎 路子	(杏林大学)
理 事	鈴木 裕子	(国士舘大学)
理 事	松枝 睦美	(岡山大学)
理 事	三森 寧子	(千葉大学)
監 事	西岡 かおり	(四国大学)
監 事	中西 唯公	(順天堂大学)



## 日本養護教諭養成大学協議会事業活動報告書（2022年度）

---

発行日 2023年9月8日  
発行 日本養護教諭養成大学協議会（2022年度会長遠藤伸子）  
事務局 〒350-0028 埼玉県坂戸市千代田 3-9-21

女子栄養大学 栄養学部 保健養護学研究室

TEL・FAX：049-282-3609

E-mail：yogojimu@j-yogo.jp

編集 株式会社リョーワ印刷

〒164-0014 東京都中野区南台 3-44-7-101

TEL：03-6382-4667 FAX：03-6382-4668

---